



活動レポート

2023年
4月

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2023年4月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

ファクトチェックの認知・信頼向上に関する取組み

▶ファクトチェックアワードの応募締め切り

「[ファクトチェックアワード2023](#)」の応募受付を4月20日に締め切り、多数のご応募をいただきました。受賞作の発表を6月に行います。

また、4月1日にアワードに関連した[プレスリリース](#)を発信しました。PR TIMESが企画する「April Dream」の趣旨に賛同した「夢のプレスリリース」として、アワードや国内外のファクトチェックの取組みを広く知っていただくための発信となっています。



ファクトチェックアワードは、社会的関心の高い事柄に関して正確な事実の共有に貢献したファクトチェック記事や映像作品を顕彰し、その社会的意義を広めることを目的としています。

▶ファクトチェック・ナビの更新

4月には、8件の[ファクトチェック結果](#)、16件の[誤情報関連ニュース（リンク集）](#)を登録しました。

ファクトチェック支援システムの運用

▶疑義言説の収集状況

疑義言説データベース[ClaimMonitor](#)の4月の新規登録件数は128件でした。一般からは100件を超える情報提供がありました。

理事の対外活動・メディア出演等

- 瀬川理事長のコメントが日本経済新聞（日経電子版）4月6日付記事「[情報氾濫の時代に確かな報道 6日から新聞週間](#)」に掲載されました。
- 瀬川理事長が[食品化学新聞4月6日号](#)に「ファクトチェックイニシアティブ（FIJ）の取り組み」を寄稿しました。（リンク先は目次のみ）
- 藤村副理事長が4月10日、シンポジウム「デジタル空間の活用と健全化に向けて」（慶応義塾大学サイバー文明研究センター主催）に登壇、発言の一部が4月26日付の[読売新聞オンライン](#)に掲載されました。

- 古田理事が4月26日、「フェイクニュースと日本 — 私たちにできること・社会としてできること —」（G7デジタル・技術大臣会合関連イベント、主催：GLOCOM、協力：FIJほか）に登壇しました。[収録映像](#)が公開されています。
- 瀬川理事長が理事長を務める報道実務家フォーラムが、4月28日～30日に[2023年のフォーラム](#)を開催、古田理事が29日のセッション「ファクトチェックの垂直立ち上げ AI時代に事実を届ける方法」に登壇しました。

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

